答　国重要文化財等保存修理事業、(仮)大門児童館建設、マキヤ橋整備事業等である。

◆ミニ防災組織の拡大策は

問　市内のミニ防災組織の現状と推進対策は。

答　現在405組織されている。未組織地区解消に努力する。

◆ペレットストーブへ補助金は

問　ペレットストーブの普及対策は（補助金交付も）。

答　設置費用が多額で普及の妨げとなっているが、新エネルギービジョンの方針に沿って補助金適用を検討していく。

◆ノーカーデーの拡大策は

問　ノーマイカーデーや公共交通機関利用の取り組みは。

答　市役所では6月～10月まで月2回設定し効果を上げている。事業所等へノーカーデー、公共交通機関利用を呼び掛けていく。

◆通学路、校内の安全対策は

問　学校内外の安全対策と今後の対応は。

答　教職員の校内巡視や防犯器具等により対応する。保育園に設置した緊急通報システムが警察署との連携に有効であり、学校への設置も検討する。通学路対策は、PTA等による安全点検、危険箇所チェックに努めている。地域住民にも安全対策に協力をお願いする。

◆企業誘致と市内企業の課題

問　雇用創出に向けた企業誘致の状況と市内企業の課題は。

答　エプソンアヴァシス㈱が旧駅跡地へ、1社が本社を移転、10数社が事業拡大、工場増設、仕事増で雇用拡大した。発注企業に依存しない独自の事業展開が必要である。

◆不祥事対策氏名等公表へ

問　不祥事に対する公表のあり方は。

答　免職は他市の事例等を参考に公表の方向で検討する。

◆子育ての父親の役割は

問　子育てに父親の役割を分担する取り組みは。

答　支援センターで今年初めて取り組んだ施策を継続する。

企業誘致が決まった旧駅跡地

市政同志会

質問者　中野　長勲

太田茂実・吉江弘紀

中原巳年男

質問時間55分

◆公約の自己評価は

問　市長は公約の自己評価と新年度の予算配分の考えは。

答　おおむね公約は達成し、第四次総の5項目に向け最少経費で最大効果に努力をする。

◆2期目への意気込みは

問　市長2期目の意気込みは。

答　現在は山積課題が多く、市民の信頼回復に向け残された任期を全うしたい。

◆調整プロジェクトの役割は

問　庁内調整プロジェクト会議は機能しているか。

答　職員の不祥事はモラルが問われると共に部下職員の指導のあり方を見直し、改めて職員教育に取り組む。

◆監査機能の強化と充実を

問　続く不祥事は監査権が機能しているか。

答　監査は財務、行政事務監査であり、今後各職場に行き書類、会計処理等確認し監査機能を充実させていく。

◆学校支援ボラについて

問　学校支援ボランティアの実情はどうか。

答　約150人が登録。不審者対策、見守り、部活指導等で活動している。

◆小学校の英語教育必須化は

問　小学校の英語教育必須化はどうか。

答　小学生は自然と英語に馴じみやすく今後の研究課題だ。

◆最終処分場の民間計画情報は

問　塩尻朝日最終処分場が竣工したが、当時民間処分場建設計画の情報はなかったか。

答　塩尻朝日最終処分場は12年の年月がかかったが、民間の土地取得状況は雑種地、山林であったためつかめなかった。

◆県産廃処分場計画の市民への周知は

問　県の産廃処分場計画を地域に説明理解を得るためには。

答　候補地絞り込み計画アセス実施方法は市民の関心が高く意見や情報を県に提出し適正に計画アセスが行われる様に要望していく。

上下水道料金の行方は

◆水道料金の今後の改定計画は

問　塩尻の水質と高い水道料金は今後どうなるか。

答　40項目の水質検査を実施し、料金は現在18市中上から5位になっている。今後松塩用水は20%前後下る方向で検討されていると聞いている。又下水道料金は今後償還金が増加するため改定せざるを得ない状況である。

◆観光対策の今後の方針は

問　奈良井宿、木曽平沢、平出遺跡の今後の事業方針は。

答　重伝建の補助金を取り入れ、修理、修景事業の他、平出遺跡、博物館等観光振興ビジョンに反映させたい。

◆ぶどうの病害対策は

問　ぶどうの晩腐病対策はどうか。

答　防除が困難な病気であり今後、県やJA等関係機関と連携をとり発生防止に努める。

県による産廃処分場計画の説明